



# あまくさ

# 市議会だより

第3号

2013(平成25年)

2.15

稽古。水よう学校がえり。

毎週水曜日、稽古<sup>けいこ</sup>(お祈りや祈りの勉強)をしています。現在では教会学校と呼ばれています。

大江天主堂(天草町)

- 議会報告会…………… p 2
- 平成23年度決算報告…………… p 3
- 補正予算…………… p 4
- 請願、条例制定・改正、  
工事請負契約の締結…………… p 5
- 常任委員会報告…………… p 6～7
- 一般質問…………… p 8～13
- 議会改革調査特別委員会報告…………… p 13
- 行政視察報告…………… p 14～ p 15
- 議会のQ&A・海道をゆく  
・議長日記・編集後記…………… p 16

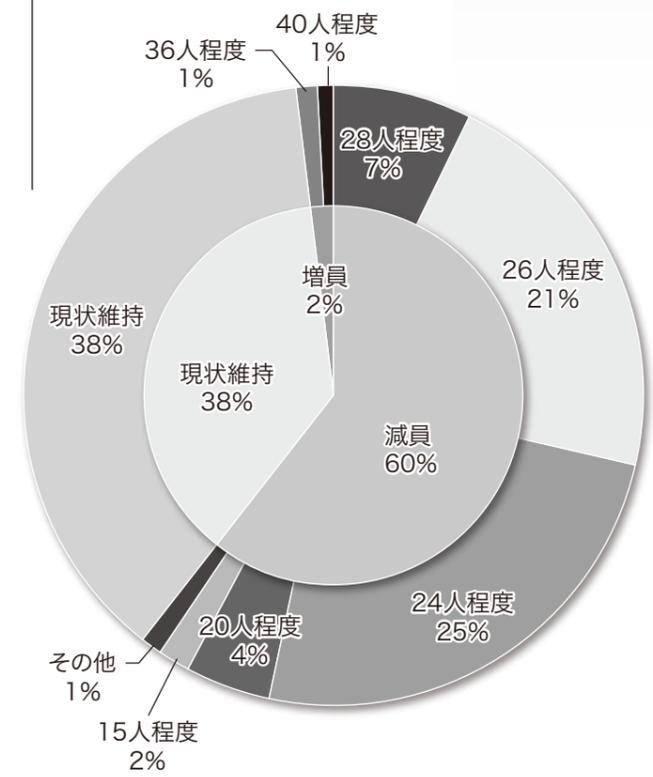
## 平成24年第4回定例会会議日程

- 12月3日 本会議／開会、市長提出議案の上程及び説明
- 12月6日 本会議／市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 12月11日 本会議／一般質問
- 12月12日 本会議／一般質問
- 12月13日 本会議／一般質問
- 12月17日 市民環境委員会・建設経済委員会
- 12月18日 総務企画委員会・文教厚生委員会
- 12月21日 本会議／委員長報告・質疑・討論・採決、閉会

# 議会報告会を実施

●「議員定数に関するアンケート」  
実施8地区の集計結果を掲載します。

問 現在定数は30人ですがどの位の定数が適正だと思われますか？



## 本渡地区 <10/26>



- 地域の声を提案してほしい。
- 人口減少に伴い、定数減は仕方ないと思う。
- 報告会では、わかりやすい資料を準備していただきたい。
- 市の10～20年後のビジョンを見せてもらいたい。
- 防災対策の遅れが懸念される(避難施設、避難場所の設置など)。
- 会派が細かく違いがわからない。
- 市の職員の調整が必要ではないか。

## 天草地区 <11/5>



- イノシシが多くて困っている。庭先まで来ている。具体策を。
- 斎場がなく、空いた施設を冷暖房完備して使わせてほしい。
- 廃校跡を使ってシルバーホーム的なものを作ってほしい。
- 企業を誘致してほしい。成功企業や人を紹介してほしい。
- 空き家が倒壊しそうで、地主に対し市から対応をお願いしたい。
- 振興会の法人化を考えている。

## 新和地区 <11/5>



- 議員の給与を下げて増員を。
- レジ袋有料化を条例化してほしい。
- 若者が就農できるような組織作りをお願いしたい。
- 経済効果だけでなく、過疎地域にも政治の光をあててほしい。

## 五和地区 <11/12>



- 若者が意見を言える市にならないと、市は発展しないと思う。もう少し若者が来るような意見交換会にしてほしい。
- 各支所の充実をお願いしたい。

## 河浦地区 <11/19>



- イベント行政から産業主体行政への移行を。
- 天草市議会基本条例の目的のとおり市民は期待しています。
- 議会のチェック機能が欠除している。

## 御所浦 <11/20>



- 議会の活動が見えない。
- 高齢化対策、住み続けられるまちづくりをしてほしい。
- 議員皆さんが市民の代表として頑張れるような環境づくり、それは市民の責務。

など多くのご意見をいただきました。

# 平成23年度 決算報告

一般会計 **519億5,525万2,426円** 認定

特別・企業会計 **366億5,625万8,652円** 認定

## 一般会計

- 歳入について
  - 問 不納欠損処理について。
    - 答 滞納整理後、催告を実施。面談して納付方法を検討し、不納欠損の処理を行っている。
    - 要望 滞納者が転出した場合は、納付義務の公平性から厳正な対応を取るよう求めた。
  - 歳出について
    - 問 交通安全施設整備(歩道やカーブミラーの設置など)の対応について。
      - 答 地域の要望により計画的に整備を行っている。その後の要望は、緊急性が高いものは、補正予算により対応したい。
      - 問 積立金現在高の増額について。
        - 答 普通交付税が一本算定となった場合、5年間で125億円の減少となり、庁舎建設等の大型事業に対応するため、できる限り積み立てておく。
        - 問 天草エアラインの安全運航について。
          - 答 機体については、構造検査済みで、エンジンなどの機材についても毎回整備が行われており、安全な運航が確保されている。
          - 問 地方バス運行等特別対策補助金について。
            - 答 平成21年度に本市における61

- 歳入について
  - 問 不納欠損処理について。
    - 答 滞納整理後、催告を実施。面談して納付方法を検討し、不納欠損の処理を行っている。
    - 要望 滞納者が転出した場合は、納付義務の公平性から厳正な対応を取るよう求めた。
  - 歳出について
    - 問 交通安全施設整備(歩道やカーブミラーの設置など)の対応について。
      - 答 地域の要望により計画的に整備を行っている。その後の要望は、緊急性が高いものは、補正予算により対応したい。
      - 問 積立金現在高の増額について。
        - 答 普通交付税が一本算定となった場合、5年間で125億円の減少となり、庁舎建設等の大型事業に対応するため、できる限り積み立てておく。
        - 問 天草エアラインの安全運航について。
          - 答 機体については、構造検査済みで、エンジンなどの機材についても毎回整備が行われており、安全な運航が確保されている。
          - 問 地方バス運行等特別対策補助金について。
            - 答 平成21年度に本市における61

- 国民健康保険特別会計
  - 問 医療費の抑制について。
    - 答 医療費は増加傾向にあるため、将来高齢となる40代から50代に対する健診の促進や、運動教室の実施など、病気になるための体作りを目指して、各関係機関との連携もとりながら健康づくりの各種事業を実施し、ひいては医療費の抑制につなげていきたい。
  - 国民健康保険特別会計
    - 問 医師確保の現状について。
      - 答 さまざまな手立てで医師の確保に努めているが、天草がへき地であるなどの理由から大変厳しい状況である。
      - 要望 へき地である天草で働く魅力がないのであれば、平等な医療を提供するためにも、報酬の引き上げなどを含め、天草独自の対策を十分検討するよう求めた。
    - 病院事業会計
      - 問 公営企業法の全部適用の効果について。
        - 答 管理者が責任を持って病院運営をしていく体制が整ってきたこと、看護師などの選考・採用ができるようになったこと、契約事務の迅速化が図られたこと、また、栖本病院があらたに救急指定の告示を受け、市立4病院全部において、救急医療を担う態勢を整えたことなどが挙げられる。

- 水道事業会計
  - 問 現在の石綿(せきめん)管布設状態について。
    - 答 石綿管については、市内に8キロメートルほど残っている状態であるが、来年度から5年間ですべて布設替えの予定である。
    - 問 上水道区域における浄水場の整備状況について。
      - 答 本渡地区の楠浦・柗宇土・城の平の3箇所、牛深の浦越浄水場に関しては、平成25年度で改修を終える。
      - 要望 御所浦地区に関しては、安定した水質の水を供給するために、最善の工法を検討するよう求めた。
    - 問 路木ダムの建設にかかる上水道と簡易水道の負担割合について。
      - 答 水源の利用が牛深の上水道、河浦の簡易水道となっており、取水量の割合で、牛深3,000トン、河浦1,600トンの負担割合を定めている。

## 請 願

請願第5号

消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願

**不採択**

## 条例制定・改正の主な内容

機構改革等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

平成25年4月から本庁・支所などの機構改革が行われます。

新たに「総合政策部・地域振興部・庁舎建設推進室」などが設けられ支所業務の一部が本庁に集約される予定です。

詳しくは、市政だより天草に掲載予定です。

天草市地区コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について

地区振興会単位でコミュニティセンターへの、指定管理者制度導入が決定しました。

平成25年度からは、現在51カ所ある地区振興会の中から、35の振興会が移行を予定されています。また、この改正により地区振興会ではコミュニティセンター職員を雇用することができるようになります。

天草市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

平成25年4月より国民健康保険税が平均約13%引き上げになります。

高齢化や医療の高度化に伴い、年々増え続けている医療費が、現在の保険料では将来的に厳しい状況になると予想されるため、税率を引き上げることになりました。

年間支払額（例）

4人世帯年間所得 367万円の場合

●世帯主35歳・妻33歳・子5歳・3歳  
平成24年度 495,700円 改正後 **558,300円**

●世帯主45歳・妻43歳・子15歳・10歳  
(40歳以上は介護分が含まれます)  
平成24年度 570,400円 改正後 **650,500円**

## 工事請負契約の締結

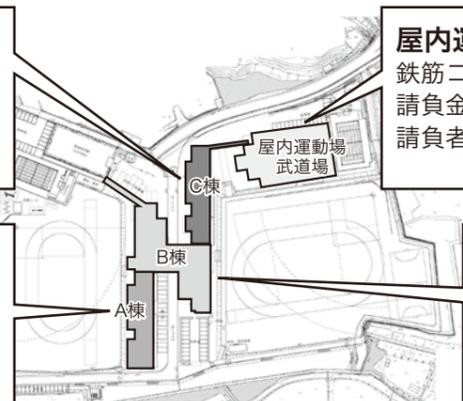
五和小学校・五和中学校校舎建築工事

**C棟（中学校普通教室棟）**  
鉄筋コンクリート3階建て  
請負金額 3億7,180万円  
請負者：有江・北時特定建設  
工事共同企業体

**屋内運動場（武道場・体育館）**  
鉄筋コンクリート3階建て一部鉄骨造  
請負金額 4億5,200万円  
請負者：大昌・木原特定建設  
工事共同企業体

**A棟（小学校普通教室棟）**  
鉄筋コンクリート3階建て  
請負金額 3億9,400万円  
請負者：昭和・中村特定建設  
工事共同企業体

**B棟（管理・特別教室棟）**  
鉄筋コンクリート3階建て  
請負金額 5億8,380万円  
請負者：中村・荅州特定建設  
工事共同企業体



## 12月定例会 一般会計補正予算の主な内容

コミュニティセンター管理運営事業

4月1日からの指定管理制度移行に伴う備品などの整備。

1,142万2千円



文化施設費

「天草歌（唄）と踊りの会」様からの寄附金による、天草市民センターの備品購入費。

20万円

図書館費事務経費

「錦戸グループ」様からの寄附金による図書購入費。

100万円



天草空港利用促進協議会負担金

新デザインになる航空機のPRや旅行企画などへの助成経費。

365万4千円



障害福祉費

自立訓練費、生活介護費などの報酬改定やサービス利用者の増加に伴う追加経費。

2億3,808万2千円

私立保育所運営費負担金

児童数や保育単価の増による負担金。

4,379万3千円

漁港管理費

牛深漁港の関連道路の補修工事。

204万円

青年就農給付金事業

国が行う新規事業で、45歳未満で新たに就農する人に年間150万円を最長5年間、給付する制度。今回12人が対象となりました。

911万5千円



有害鳥獣捕獲対策事業

捕獲したイノシシ肉の消費拡大や地域資源として活用するためのレシピ集の作成経費。

10万円



財政調整基金積み立て

地方財政法に基づく基金積立。

11億8,815万1千円

県の緊急雇用対策基金を利用した事業

本渡歴史民俗資料館の資料整理(臨時職員人件費)。

119万6千円

一般会計予算

予算現額 519億3,204万8千円

今回補正額 13億477万2千円

予算総額 532億3,682万円

## 特別会計補正予算の主な内容

介護保険特別会計補正予算

小規模特別養護老人ホームの整備や開設に伴う備品の購入、職員雇用のための県からの補助金。

1億3,340万円×3カ所 合計 4億20万円

今回は今釜町、下浦町、久玉町に施設整備を予定されている法人が対象となります。

12月6日の本会議で委員会に付託された案件（補正予算15件、条例26件、その他42件、請願1件）の審査を、4つの常任委員会で行いました。委員会審査における主な質問とその答弁、委員会から出た要望などを紹介します。

総務企画常任委員会

●平成25年度から市長部局へスポーツ及び文化に関する事務を移管することについて。

問 教育委員会から市長部局へ移管されることに伴い、学校におけるスポーツ活動、並びに文化活動に対する今後の市の関わりは。

答 学校に係るものは従来どおり教育委員会において所管するものであり、小体連、中体連などの大会も含め、これまでと特段変わることはない。

●平成25年度から国民健康保険税を平均12・97パーセント税率引き上げを行うことについて。

問 一般会計からの繰入金について。医療費が高騰する現状を踏まえ、今後も市民の理解を考慮しながら、税率改定、繰入額の調整を図ってほしい。

問 医療費を引き下げる方策について。

答 年間約100億円の医療費を要する中、その3分の1は、高血圧、糖尿病、ガン、腎臓疾患などの生活習慣病で占められていることから、現在、生活習慣の改善に向け取り組んでいる。

●平成25年度からの公民館再編及び地区コミュニティセンターの運営について。

問 コミュニティセンター移行後の使用料の額や徴収方法、納入先について。

答 地区コミュニティセンターの使用料として新たに規定を追加するが、今回規定した使用料の額については、現在と同額であり、減免の運用などについても、同様の対応を図っており市民への影響はないと考えている。

使用料については、現在同様、市へ納入することとしており、指定管理者への納入とする利用料金制度への移行については、今後検討していきたい。

●現在、本庁、支所、出張所のみで行っている住民票発行等のサービスを、今後、住民から要望のあるコミュニティセンターなどまで拡大できないか、検討するよう求めた。

●補正予算（所管部門）について。

問 天草エアライン利用者減少の主な要因について。

答 天草エアラインでは、国内の景気低迷による、航空業界の全体的な利用客の落ち込みをはじめ、悪天候による運航の不確実性、整備欠航などによる信頼性の低下、また、昨年東日本大震災による出控えや、九州新幹線的全線開業の影響などが主な要因であると分析している。

問 欠航による信頼性の低下が一番の要因ではないか。

答 天草エアラインの平成23年度の就航率は96%と、他の航空会社と比較しても悪くない就航率であるとのことであるが、代替機がなく、他の航空会社もない現在、その点においてたいへん苦慮している。



建設経済常任委員会

●平成25～27年度の指定管理者指定（22件）について。

問 赤字経営が続く施設に対する今後の方針について。

答 今回は、外部評価を受け、行財政改革審議会でも検討が行われており、今後は単年度ごとに収支決算をみて、平成25年度、同26年度と2期連続の赤字となった場合には、廃止するかどうか、庁内検討委員会を設置して検討する。

●補正予算（所管部門）について。

問 青年就農給付金（経営開始型）事業の内容について。

答 国の新規事業として本年度から開始された事業で、独立して自営就農を行うなどの要件をクリアする45歳未満の新規就農者に対し、年間150万円を最長5年間給付するもの。

問 給付対象者の地域別内訳について。

答 有明町3人、河浦町2人、楠浦町2人、本町2人、下浦町1人、久玉町1人、倉岳町1人、以上12人が見込まれている。

文教厚生常任委員会

●現在ある56公民館を旧市町単位に一つの公民館に再編を行うことについて。

問 再編に伴う今後の活動はどのようになるのか。

答 これまでの地区振興会活動は現状どおりコミュニティ主事が行い、再編に伴う公民館活動は、学習活動に特化して新たな公民館長と担当者が行う。

学習活動の具体的な計画としては、旧市町単位に行う一般的な教養の向上を図る内容として、人権学習、家庭教育講座、地域の歴史等を学習し地域の底上げを図ること、コミュニティを単位として各地区に向向いて、健康講座、消費生活講座、食育、介護、看護などの講座を開催する。

●コレジヨ館の2階にある河浦図書館を河浦支所に移転することについて。

問 セキュリティ対策はどのように考えているのか。

答 今回図書館として利用する場所が支所の一階左側部分であり、支所業務と区別しなければならぬので、閉庁日に利用者が支所側に入れないような対策を取っていく。

●要望 セキュリティが一番大事であるので、支所と協議を行い、万全を期すよう求めた。



左側1階部分に図書館が移転する河浦支所

●指定管理者の指定について。

問 コミュニティセンター職員の雇用についての方針は。

答 現在、非常勤職員で対応している地域もあり、指定管理者も円滑な事務引き継ぎを希望されているとの

市民環境常任委員会

●可燃ごみ袋のサイズ追加と料金の変更について。

問 手数料見直しの経緯について。

答 ごみステーション収集運搬業務の民間委託による処理経費の軽減や、一般家庭から排出されるごみの減量状況などを踏まえ、現行手数料の見直しに至った。

●可燃ごみ袋のサイズと料金

形状	現行	改正後 (平成25年 4月から)
特大 (45ℓ)	—	50円
大 (35ℓ)	50円	40円
小 (20ℓ)	30円	20円
特小 (10ℓ)	—	10円

(1枚当たりの料金)

●国民健康保険診療施設特別会計補正予算について。

問 診療収入の減について。

答 御所浦診療所の医師が2人から1人体制になったことが主な要因である。

●要望 早急に医師2人体制での診療ができるように、医師の確保に努めるよう強く求めた。

●現在勤務している職員に対し面接などを行い、団体職員として再雇用を予定している。

問 児童館の対応について。

答 本渡児童センターと河浦中央児童館については、指定管理を予定しており、そのほかの4児童館については、廃止する方向であるが、児童の安全な遊び場・居場所の確保は必要であると認識しており、児童館運営委員会において廃止後の対策を協議している。

●補正予算（所管部門）について。

問 難聴児補聴器給付費について。

答 熊本県の要項による補助率は、県3分の1、市町村3分の1、利用者3分の1となっているが、本市においては、県3分の1は変わらないが、利用者負担を障害者自立支援法と同率の1割負担とする要綱を制定しており、今回は、身体障害者手帳の交付対象とならない聴覚障がい児に対する給付補助である。

問 スクールバスを学校開放時に地域住民が利用できないか。

答 旅客運送法に基づき、児童・生徒の登下校を目的に、運行経路を決めて運行しており、法的なこともあるので、現在は登下校時以外の利用はしていない。

# 一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので定例会に限って行われます。今回の一般質問は12月11日から同13日までの3日間行い、計10名の議員が質問に立ちました。掲載原稿は質問者本人が要約したものです。

質問者	質問事項
若山 敬介	①景観保全と廃屋対策について ②再任用制度について
蓮池 良正	①2013年度からの市機構改革について ②2013年度予算案編成にかかわって ③人口構成の変化に伴う市の課題
奈良崎利幸	①本渡看護専門学校について
浜崎 昭臣	①観光振興について ②天草市定住促進について ③天草市空き家及び空き地情報バンク制度について ④魚貫町多目的公園及びトイレ設置について
赤木 武男	①子育て支援について ②市職員の持家に対する住居手当について ③ESCO事業（リース事業）について
中尾 友二	①本渡港大矢崎緑地について ②障がい・療育手帳の更新について ③天草エアラインについて ④小・中学校のトイレの改修について
鎗光 秀孝	①合併浄化槽の設置について ②個人情報保護について ③施設命名権（ネーミングライツ）導入について
浜崎 義昭	①議会報告会より、住民要求を受けて他
楠本 千秋	①質問への対応状況 ②市民の健康対策 ③持家改修「リフォーム」 ④天草県民体育祭
福嶋 啓子	①本市において女性が意思決定の過程にかかわる比率はどれだけか

## 2013年度からの市機構改革について



蓮池良正 議員

**蓮池** 市民にとってなじみのある名称と中身になることが期待される。総合政策部は従来の企画部と位置づけがどのように変わるのか。  
**総務部長** 市民との協働に関する業務を地域振興部に移管し、これまでの企画部業務に加え、総合的な政策の立案、組織全体の総合調整事業の推進・評価など、より強力に推進する体制を構築するもの。

**蓮池** 機構改革の方向性を継続的に論議されている機関会議は常設されているか。現実的にはどういう進め方をしているのか。  
また、職員向け及び市民向け啓発広報は検討されているか。

**総務部長** より効果的・効率的な市政を運営するため、市長の指示を受け、関係部署と協議・調整を行い、経営戦略会議での決定を受け、今回の組織機構案を策定した。

職員向け周知は、各部長・支所長から周知し、新体制へのスムーズな移行に心がけたい。市民向けの周知は、市政日より天草、ホームページなどで周知を図っていく。

## 【環境保全と廃屋対策について】



若山敬介 議員

**若山** 天草市は、少子高齢化と人口減少に歯止めがかからない状況下、空き家が増えている。景観保全上の取り組みはされているのか。  
**建設部長** 本市は、景観計画を策定し、天草の良好な景観保全と島づくりに取り組んでいる。廃屋への調査は実施していないが、危険な建築物に対する相談窓口の一本化を図って対応したい。今後は、他市の情報を収集して条例化を検討する。

**若山** 空き家バンクの取り組み状況はどうなっているのか。  
**経済部長** 空き家の数は増えていくが、バンクへの登録数は不足している。住宅整備の課題がある。

**若山** 行政も条例化して腰を上げたい。有効活用を図る条例となるよう期待する。

**若山** 行政も条例化して腰を上げる時期だ。空き家や廃屋は増え続ける。有効活用を図る条例となるよう期待する。

**【再任用制度について】**  
**若山** 再任用制度に対する市の取り組みは。  
**総務部長** 総務省からの通知で、地方公務員法の改正は承知している。新規採用者数の確保と再任用

制度を実施する場合の諸課題について研究をしていきたい。  
**若山** 県下14市のうち天草市だけが条例化していないが、市長の見解は。  
**市長** 法の改正を重く受け止め条例化に向けて取り組みつもりである。あわせて、定員適正化計画や雇用の場の創出も考慮する。

**若山** 廃屋対策は、家を取り壊すことだけが目的ではない。その後の空き地の利用を十分考慮した上で検討されるものである。所有者には、天草の景観保全や地域への貢献としてご協力いただきたい。再任用制度は、天草に働く人の手本となるものである。企業に法を押し付け

るのではなく、行政が見本となるよう導入されることを要望する。



空き家の状況

## 本渡看護専門学校について



奈良崎利幸 議員

**奈良崎** 本渡看護専門学校の天草島内出身者の卒業生が、就職先として、なぜ天草地域の病院などへ就職しないのか。

また、天草市独自の奨学金制度を創設できないものか。

**健康福祉部長** 本渡看護専門学校は、現在、1年生39人、2年生39人、3年生40人の計118人が在籍している。島内出身者は学校全体で69%の81人が在籍。

平成23年度は卒業生39人のうち天草島内の病院に12人が就職して



いる。スキルアップのため、島外の病院へ就職したい等の個人の希望もあり厳しい面はあるが、学生の約7割が天草島内の出身者でもあるので、地元定着に今後も努力したい。

また、奨学金制度は「日本学生支援機構奨学金」があり、在籍者118人のうち58%の68人、島内出身者81人のうち56%の45人が受給している。

今後、天草島内の出身者を確保し、地域の保健・医療に貢献できる看護師の育成のためには、天草独自の奨学金制度は重要な施策であると認識し、検討していく。



本渡看護専門学校の外観

日本風景街道・登録について  
天草市定住促進について



浜崎昭臣  
議員

【シーニックバイウェイ（日本風景街道）について】

【浜崎】 シーニックバイウェイは1980年代後半にアメリカ合衆国で提唱、法制化されている。シーニックつまり景観の良い、バイウェイとは脇道・寄り道といった意味の造語で主に自動車の走行する道路からの視点で景観、自然、文化、レクリエーションといった要素によって観光や地域活性化などを目的として地域の魅力を具現化するための取り組み、またはそのためのルートの事をいう。日本では平成18年国土交通省が日本型の「日本風景街道」と名称を決定。現在、全国では128、九州では11ルートが登録されている。この天草市を「日本風景街道」登録に向け、取り組みができないか。

【市長】 事業効果や経済効果、「風景街道パートナーシップ」の組織構成などの調査研究を行い、登録に向けた取り組みを進めてまいりたい。

【天草市定住促進・空き家及び空き地情報バンク制度について】

【浜崎】 奨励金交付対象に、都市計画区域外へ空き家等情報バンク制度を利用して転入し、過去に本市に移住した事がない事とある。思い切った改革に取り組みむべきと思うが。

【建設部長】 都市計画区域内も検討していく。空き家登録件数の増加を図るため、家財道具の処分費用に対する助成なども協議している。今後は、市民からの空き家などの相談に関しては窓口を一本化する。

【魚貫町・多目的公園及びトイレ設置について】

【浜崎】 魚貫町字琵琶の首1、3、526㎡の白地を「防災公園を兼ねた避難所」、「小規模運動公園」又は「夕陽ヶ丘公園」のいずれかに出来ないか。まず整地だけでも良い。町に公衆トイレが1つもないので早急に設置して欲しい。

【総務部長】 「天草市公有財産活用、取得、処分等検討委員会」を本年9月に立ち上げたので、この中で管理や整備及びび活用のあり方について審議していきたい。

【市長】 トイレについては、観光資源としての活用や地域の実情等も考慮し、設置する方向で検討する。

県有地である  
本渡港大矢崎緑地について



中尾友二  
議員

【中尾】 トイレの増設と芝生公園内の園路の排水溝の整備計画は。

【建設部長】 利用者からも増設の要望もあつており、県に対して整備の要望を行っている。今後の利用状況を確認しながら検討していくとのこと。また、排水溝は園路全体に付設されていないので、今後トイレの増設とあわせて県に要望する。

【中尾】 利用される皆様にとって、利用しやすい緑地になることを願う。

【障がい・療育手帳の更新について】

【中尾】 その後の経過は。健康福祉部長 23年度・24年度においては県に相談枠を増やして頂き、希望者全員の面談を地元で実施することができている。今後、障がいをお持ちの方ご本人、ご家族の立場に立った支援を行っていく。

【中尾】 早急な対応をとっていただき感謝する。今後も様々な子育て支援を行っていただきたい。

【天草エアラインについて】

【中尾】 機体の更新は。市長 現有機体の製造はすでに中止されており、メーカーからの技術支援が弱くなりつつあることや、これから交換が必要となる部品の入手についても、ご指摘のように時間を要することも考えられる。本市としても天草の「空の翼」である天草エアラインの運航継続のため、地元自治体として最大限の努力をしてみたい。

【中尾】 天草エアラインは天草島民・経済にとって、なくてはならない「公共交通機関」である。機体の更新、滑走路などについては今後も県と協議を行っていただくよう要望する。

【小・中学校のトイレの改修について】

【中尾】 洋式化や排水設備等の改善は。教育長 洋式トイレの設置は、今後計画的に改善を図っていく。また、換気扇の設置やトイレの洋式化に伴い、排水管を含めた排水設備等についても、調査を行ない順次必要な改善を図っていく。

【中尾】 児童が使用するトイレの洋式化を進めていただきたい。それこれらの家庭でも、ほぼ洋式化されているのが実情だと思う。早く調査を行い改善を図っていただきたい。

子育て支援(子ども医療費の拡充等)  
市職員の住居手当(持家)は廃止を



赤木武男  
議員

【赤木】 子ども子育て支援を総合的に推進する(支援関連3法)新制度は27年から本格的に動き出すが、万全の準備と円滑な移行を目的としてもらいたい。また、保育所民営化等実施計画に基づき、直営、民営化、廃止などの見直しで、今年度までに6保育所が民営化・廃止となり、運営費削減高は実質7千万円を確保できる。この財源を子ども医療費の拡充策に還元すれば、子育て支援そのものになる。

【健康福祉部長】 来年度から「地方版子育て会議」や関係各課に計画策定検討委員会を設置し、ニーズ調査実施や円滑な事務の実施体制の整備を図りたい。

【市長】 子ども医療費助成の拡充は、子育て支援事業計画ニーズ調査結果を十分踏まえ、総合的な視点で子ども医療費助成拡大のウエイトが大きければ、当然そうなると思うし、財源の根拠はよく理解できる。

【赤木】 9月議会では、通勤手当を提案したが、今回は市職員の持家に対する住居手当を提案したい。持家に対する住居手当は、人事院勧告でも指摘され、国及び各県のほとんどが廃止、または廃止を予定している。勧告から既に3年が経過したが、本市は未だに見直しが行われていない。

【総務部長】 該当者は全職員の約26%で年額1千万円が支給されている。総人件費抑制のため、廃止の方向で組合と協議しており、廃止をはじめ適切な給与体制にしたい。

【赤木】 約1万基ある防犯灯に経費削減のため「ESCO事業」(LED化のリース事業)を導入してはどうか。また市公共施設も対象にしてはどうか。

【総務部長】 導入すれば、年額約420万円の経費削減が見込まれる。LED化は、長寿命化・省電力化が図られ、環境負荷削減等の大きな効果もあり、防犯灯や公の施設管理の面からも経営戦略会議に諮り、前向きに検討したい。

施設命名権(ネーミングライツ)  
導入について



鎌光秀孝  
議員

【鎌光】 歳入確保のため、公共施設の所有権、運営方法をそのままにして、施設名称の命名権を売却し、企業名などの愛称をつけ、財源を確保するネーミングライツについて、県下の状況や市の導入への考えは。

【企画部長】 熊本市が、市民会館を「市民会館崇城大学ホール」として導入している。本市での導入は、多くの課題がある。

【鎌光】 県外では歩道橋や市民マラソンなどに導入しているが、厳しい財政のなか、財源確保のため命名権導入方針を、早急に定めてはいかかがかと提案する。

【市長】 導入の可能性を含め、施設のネーミングのあり方は、引き続き検討する。

【鎌光】 行政財産の有効活用による、財源確保のため、導入を強く要望する。

【合併浄化槽の設置について】

【鎌光】 現在の補助金交付要綱は、あくまでも個人用であり、複数世帯を連結した場合や、倉庫などに

浄化槽を設置するときには、補助金が交付されないのでは、新制度の導入を要望する。

【個人情報保護について】

【総務部長】 目的外提供は、個人の生命、財産の保護のため、緊急やむをえない場合は、例外的に提供できる。

【鎌光】 民生・児童委員の活動に必要な高齢者などの名簿の取り扱い。健康福祉部長 正当な理由なく、第三者に漏らさないよう、誓約書を提出していただいている。

【鎌光】 学校における個人情報の取り扱いの指針等はあるのか。

【教育部長】 「市町村立学校での個人情報を含む電子情報の取り扱いについて」の文書を、各小・中学校に配布して周知を図っている。

【鎌光】 個人の権利の保護と、有用性のバランスを図り、法律を正しく理解し、個人情報を適切に管理しつつ、活用すべきだ。

議会報告会を受けての  
市民からの要望・要求他



浜崎義昭  
議員

議会報告会が行われ、住民の皆さんからの意見・要望には行政に対する不満などが少なからずあった。

【離島活性化対策】

**浜崎** 離島振興法が、国会で10年ぶりに改正された。今回の離島振興法改正はどのようなものになったか。天草の離島振興はどのようなものになっているか。

【高潮対策】

**浜崎** 9月17日の午前中、台風16号の影響により、天草地方にも被害が発生した。天草市としての今後の対応は、どのように行うのか。

【有害生物処理及び残渣問題】

**浜崎** 天草市のバイオマス構想が変更された。当初は堆肥化が可能であった。

有害生物の有効利用及び水産物残渣を市としてはどのようにとらえているのか。

【漁港漁村環境整備】

**市長** 今後、大きな問題になると認識している。今後の取り組みとして、十分に調査を行い、方向性を研究していく。

市民環境部長 バイオマスセンターで堆肥化計画もあったが、精査した結果、し尿処理のみになった。

【有害生物処理及び残渣問題】

**市長** 今後、大きな問題になると認識している。今後の取り組みとして、十分に調査を行い、方向性を研究していく。

日本女性会議2012仙台に参加して



福岡啓子  
議員

**福岡** ジェンダー・ギャップ指数で日本は2011年の統計では、135カ国中98位です。本市において女性が意思決定の過程にかかわる比率は、



日本女性会議のようす

総務部長 職員数(医療職を除く)は1,010人で、女性が312人、男性が698人。その中で、女性の役職者は部長級4・8%、課長級27・3%、課長補佐級5・6%、係長級44・8%。

**福岡** 防災計画の意思決定に女性はどう関わっているか。

**総務部長** 本市防災会議の女性委員は、今年度から43人中3人。地域防災計画において、東日本大震災を受け、大きな見直しをしている。

**福岡** 観光における女性のかかわ

りはどうなっているか。

**経済部長** 各種イベントなどの実行委員会にも積極的に参加してもらい、女性の視点を活かした企画提案を行っている。

**福岡** 行政区長の女性の割合は、比率は1・8%。

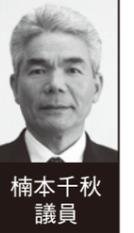
**福岡** 男女共同参画で女性が活躍できるようにするための取り組みは、

**企画部長** もっとさまざまな場所・場面で活躍できるように、「女性人材バンク」を設置した。

**福岡** 25年度から行政機構が変わるので、女性の視点からの政策提案ができるよう、配慮された人事配置を期待する。

**市長** 本市の政策、施策を計画、実施する上では、女性の視点・考え方を反映することは、大変重要なことと認識している。今後も引き続き、総合的な考え方のもと、適切な人事配置を行っていく。

これまでの質問の対応状況・市民の健康対策・持家改修「リフォーム」について



楠本千秋  
議員

**楠本** 男性の骨粗しょう症対策について。

**健康福祉部長** 平成25年度から実施する計画で予算要求をしている。

**楠本** AED(自動体外式除細動器)を使った、児童・生徒への命の教育の取り組みについて。

**教育部長** 54人の教職員が応急手当普及員講習(2日間)を受講し、小学校35校中9校で、中学校13校全ての学校で取り組んだ。

**楠本** 本渡柵宇土線の安全対策(路肩の清掃)について。

**建設部長** 定期的なパトロールで適切な維持管理に努める。

**楠本** 歩道未整備区間の整備について。

**建設部長** 歩行者の安全と自動車の円滑な走行を図るため、今後の状況を見極めたい。

**楠本** 市民の健康対策「公園に健康遊具の設置」について。

**健康福祉部長** 健康遊具の設置は、体力の回復や心身の健康維持に効果がある。

**市長** 交付金事業を活用するなど、資金面での検討や、設置後の

利用促進等、先進地を研究したい。

**楠本** 持家改修「リフォーム」「天草産材利用促進補助金」の成果について。

**経済部長** 平成23年が43件287万5千円、経済効果8,234万円。平成24年は11月まで、31件210万9千円、経済効果7,247万3千円です。

**楠本** 宮崎の都城市では、2年間で利用件数「2,237件」補助金額「1億5,707万6千円」総工事費は「31億2,101万2千円」である。天草市においても、2年限定の「持家住宅リフォーム緊急支援事業」を何とか検討していただきたい。

**市長** 議員ご提案の住宅等のリフォームに掛かる補助については、市民・施行業者・地元商店の活性化など、大きな経済効果を与える事業であり、他市の実施状況を参考に、より経済効果が高まるような施策で検討するよう指示をする。



健康遊具

議員定数は削減!

議会改革調査  
特別委員会報告

当委員会は、これまで「議員定数」、「議員報酬」、「議会基本条例」の調査・研究に係る中間報告を行ってきましたが、12月議会では、あらためて調査・研究を重ねた「議員定数」に係る方向性について中間報告を行いましたので、その概要や審議経過について報告します。

委員会では、全国の類似市や県下14市の議員定数の状況などを調査し、また、9月から11月にかけて市内10地区で開催した「議会報告会」では、参加された市民の方々と自由な意見交換の場を設け、あわせてアンケートを実施するなど、議員定数に係る意見などの聴取や収集にも努めてきました。

それらを踏まえたうえで、複数回にわたる委員会では、各委員から会派等の意見として、例えば、「近隣市議会の動向や、市の経済状況及び人口の減少等から5人程度は削減すべきではないか」との意見や、加えて「アンケート結果な

どから2人ないし4人は削減しなければならないのではないか」、また「できれば現状維持が望ましいが削減するなら2人までの減でよいのではないか」、また「行財政改革が進められている中、議員として範を示すためにも、2、3人は削減すべきではないだろうか」など、「削減」とする旨の意見が出された一方、「市域の広さ等を考慮すれば、現状維持でよいのではないか」、また「現段階では自ら削減すると言いつぶすべきではないのではないか」など、『現状維持』とする旨の意見が出されました。

このような中、委員会としては、議員定数に係る何らかの方向性を示すための詰め調整を行いました。『削減』とする旨の意見が大勢を占めたことから、最終的には、『議員定数は削減する。そして、具体的な削減数については、さらに議論を重ね、平成25年3月の定例会に『議員定数条例案』として上程すべく準備を進めていく』ということが、決定されたところです。

研修内容は、いずれも天草市における重要課題と密接なものでした。今回の視察研修の成果を、今後の議会活動に生かしてまいります。

建設経済常任委員会

〈11月7日～同9日〉視察先：鹿児島県霧島市・鹿児島県瀬戸内町

【霧島市・企業誘致の取組み事業  
「企業立地プロジェクト」について】

霧島市は、約70ヘクタールの工業用地を擁し、県外からは84社の企業が立地し、合併後だけでも28社の誘致と670人ほどの雇用創出がっており、現在は新たに約11ヘクタールの工業用地の整備を進め、立地企業への優遇制度として補助金の交付、固定資産税の3年間の課税免除などが実施をされています。

今後の計画としては、企業のニーズに合う用地の整備、確保に努め国内需要型の業種、物流関係を中心とした企業の誘致が検討をされていました。



【瀬戸内町・水産業の振興について】

瀬戸内町は真珠、車エビなどの養殖が盛んに行われており、近年は「クロマグロ栽培漁業プロジェクト」で注目を浴びている町です。

現在は、各種種苗の放流、藻場の造成、EM菌の培養散布試験、密漁防止の監視活動等を実施され、「クロマグロのまち、瀬戸内町」のPR事業や「クロマグロ給餌体験」などの観光漁業化も図ってられました。

また、クロマグロ養殖は国際的な資源管理の流れを受ける中にありながら、行政と養殖業者との間で情報交換などを行う場がなかったため、交流会を開催するなどして養殖業者等の意見集約や情報交換などに取り組み、種苗確保や漁場利用等についての連携を図っていききたいとのことでありました。



総務企画常任委員会

〈10月17日～同19日〉視察先：兵庫県丹波市・加東市

【丹波市・分庁舎方式の現況について】

丹波市は、平成16年に6町が合併してできた自治体ですが、合併時の協定により、現在も分庁舎方式を選択されています。

同方式によるメリット面については、既存の庁舎を有効利用できることをはじめ、職員が分散することにより、地域の衰退防止及び活性化の一翼を担っているとのこと、デメリット面については、会議等における職員の庁舎間移動等の時間ロス、また、庁舎分散化による職員の増員や、地域イントラネットの構築・維持管理経費の高騰などがあげられました。

庁舎の方式については、議員の声も賛否両論あったようですが、現有施設も耐用年数に余裕があったことから、分庁舎方式の意見でまとまったとのこと、今後の市の考え方としては、3.11東日本大震災



等を踏まえ、総合的に判断しつつ、現庁舎については、老朽化が進み、使用困難となった時点で、増築または新庁舎を検討するとのことでありました。

【加東市・分庁舎方式の課題について】

加東市は、平成18年に3町が合併してスタートした自治体ですが、合併当初、庁舎を統合する大きな施設がなかったことから、分庁舎方式を採用されましたが、庁舎の統合については、合併前から新市において「庁舎を建設する方向で検討する」とされていたことから、分庁舎方式の長所・短所、また、庁舎を統合した場合の課題について、それぞれ検討し「諸課題を解決する方法として、庁舎統合はひとつの有効な手法である」と位置づけ、平成26年1月の開庁を目ざし、すでに工事が始まっていました。

庁舎統合後は、窓口機能を新庁舎に集約することから、旧3庁舎に支所は設置しないとのこと、旧庁舎については、消防本部として活用するほか、市民への開放など、それぞれ計画しているとのことでありました。



文教厚生常任委員会

〈11月14日～同16日〉視察先：東京都三鷹市・武蔵村山市

【三鷹市・子育て支援策への取り組み】

三鷹市では、施設保育支援として、効率的な保育所の運営、認証保育所、家庭福祉員、幼保一体型のこども園を整備しており、今後は家庭的保育を待機児童対策としていくということであり、保育園の公設民営化については、公立幼稚園を廃止し、跡地を活用した保育園を整備し、民間へ運営を委託しているということでありました。

また、在宅子育て支援については、子ども家庭支援センターを設置し、子育てに関する各種事業を実施されているが、今後は、障がい児や病児の保育も行なっていきたいということでありました。

なお、三鷹市では、毎年1,500人程度生まれる家庭すべてを民生・児童委員が訪問し、各種の情報提供やアンケート調査を実施し、家庭の養育状況を見て、虐待の兆候がないかなどを確認しているということでありました。



【武蔵村山市・小中一貫教育への取り組み】

武蔵村山市では、小中一貫校の設置に向けて、開設準備室を設置し、基本計画や実施計画の策定、市民・保護者等に対する説明会の開催、教科ごとの小中一貫教育カリキュラムを作成し、平成22年4月に小中連携教育の発信校となる施設一体型小中一貫校「村山学園」を開校したということでありました。

小中連携教育としては、カリキュラムを活用した授業を意図的・計画的に実施し、児童生徒が共に学ぶ「交流事業」、小・中教員によるチームティーチング事業を行う「協力事業」、小中学校の教員が相互に授業を行う「一部教科担任制」等の授業形態の工夫が行われているということでありました。

なお、施設一体型小中一貫校の最大のメリットは同じ校舎の中で、小学生も中学生もともに自然な形で交流ができるということで、校舎が別々であれば児童・生徒の交流は意図的に設定をしなければできないが、施設一体型は人と人との交流というのがより密になるということでありました。



市民環境常任委員会

〈11月14日～同16日〉視察先：千葉県旭市・群馬県榛東村

【旭市・旭クリーンパーク  
(おてい 汚泥再生処理施設) について】

旭市は、千葉県の北東部に位置し、人口約6万8千人。当施設は、平成23年12月に完成し、一日あたり、し尿10kl、浄化槽汚泥51klの合計61klの処理能力で、浄化槽汚泥対応型の膜分離方式に高度処理を加え、きれいな処理水質となっています。また、資源循環型社会に貢献するため、処理工程より発生する汚泥は、助燃剤として焼却施設で一般と混合して焼却しています。さらに、高効率の生物脱臭方式と活性炭吸着方式を組み合わせた脱臭システムを採用しているため、いまだ臭気に対する苦情などはないそうです。

また、当施設の敷地内には、周辺地域への還元として運動広場を整備するなど親しみやすい施設となっていました。



【榛東村・標高1,000mにある  
大規模太陽光発電施設について】

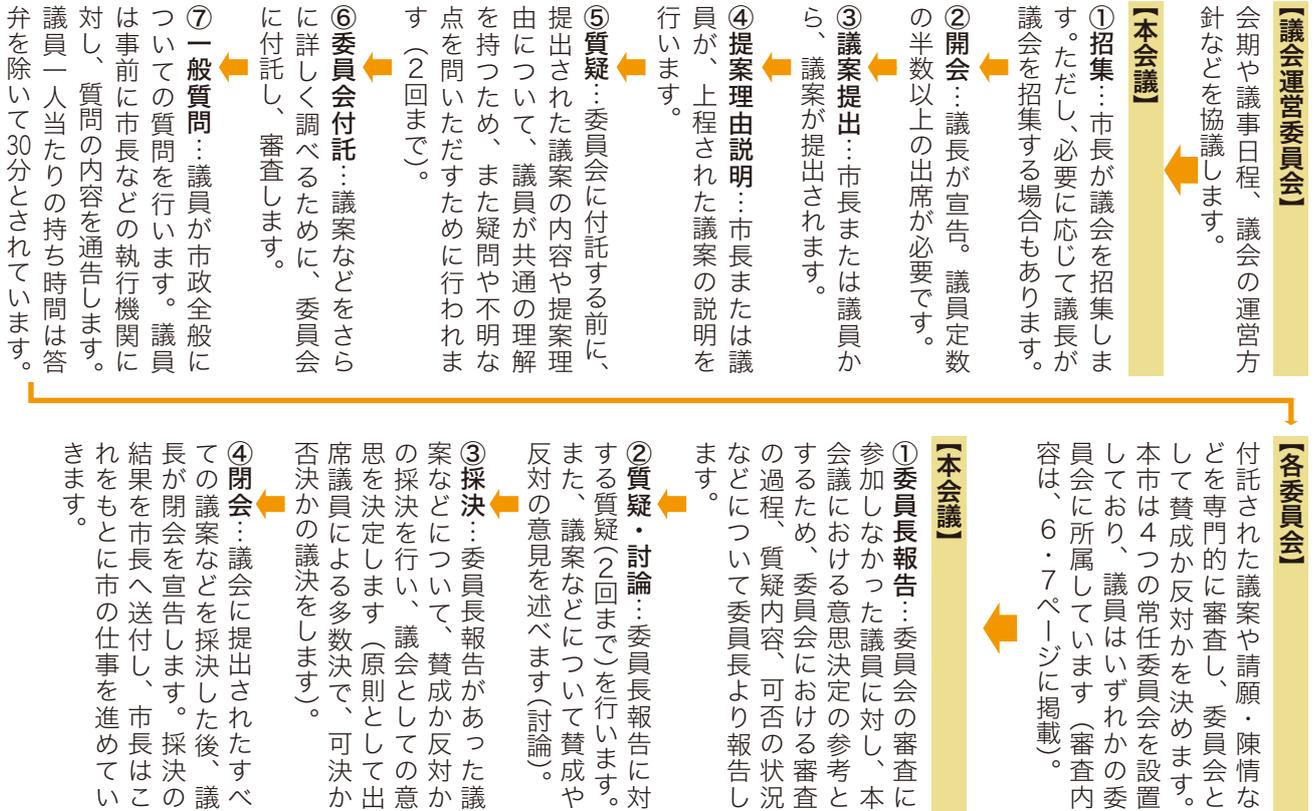
榛東村は、群馬県の中央に位置し、人口約1万5千人。周囲は前橋市、高崎市、渋川市に接し、豊かな田園が広がり、農業を中心に商工業が発達してきた地域です。

太陽光発電施設の用地は、村有地のゴルフ場跡地36,000㎡を村が整地し、事業主体であるソフトバンクグループのSBエナジー株式会社に貸し付け、村はその売電収入の3%を土地代として受け取ることにしています。年間予想発電量は268万kwであり、売電価格は1kwあたり42円であるため、村の収入は340万円程度が見込まれているとのことでした。

企業誘致決定後の住民の反応は、自主的に林道の草を刈り、案内看板の設置を行うなど、財政効果より、住民の自主性や地域活性化につながった事業になったそうです。



**A** 表紙の会議日程はご覧いただけましたでしょうか。今回は、議会の流れについてご説明いたします。天草市議会定例会は、おおむね次の順序で進められます。



# 海道とゆめ

## まがいぶつ みたけ 磨崖仏・三岳観音

(五和町手野字下内野)



今回は、五和町にある磨崖仏の話聞き、訪ねました。手野地区の宮下石材店の隣にある細い登山道を三岳山上目ざし登ること約8分、巨岩洞窟に聖観音を安置し周囲のあちらこちらの岩に三十三体の観音像が彫刻してある芸術のスポットを発見。三十三体の観音像を探しながら、すべてにお参りするのも、ミステリアスな雰囲気味わうことができそうです。

## 議長日記

早いもので、もう三月議会の準備中です。さて、議会運営の中で一番悩むのが「発言の制限(中止)」です。規則により「発言は、すべて簡明にするものとし、議題外にわたり又はその範囲を超えてはならない。質疑に当たっては、自己の意見を述べることができない。」と定めています。しかし、発言の制限は、発言の自由を奪うことにもなります。皆さんは、自由に何でも発言して良いと考えていませんか？

議員の発言と議長の悩む姿を傍聴して下さい。一味違うかもしれません。議長へ！お待ちしております!!

## 編集後記

3号をお届けしました。昨年3月に「議会基本条例」を制定、第一歩として、広報・広聴活動に取り組み、予定の10町で議会報告会を開催できました。参加いただきました市民の皆様ありがとうございました。皆様からのご意見・ご要望を市政に反映できるように、議会として取り組んでまいります。今年の干支は「巳」。巳の特徴は探究心と情熱。「あまくさ市議会だより」も脱皮を繰り返しながら成長し、皆様に愛される『紙面づくり』を心がけてまいります。

市民の皆様のご意見をお待ちしております。

委員 楠本千秋



天草市議会広報広聴委員会  
委員長 濱洲大心  
副委員長 福嶋啓子  
委員 楠本千秋  
船辺 修  
宮下幸一郎  
蓮池良正  
黒田忠広